

委員会からのお知らせ

第245回食品安全委員会議事概要

■第245回食品安全委員会■ 【遺伝子】【農薬】【化学・汚染】【緊急時】

日時:平成20年7月3日(木) 14:00~14:43

場所:食品安全委員会 大会議室

傍聴者数:30名

議事概要:

(1) 泉内閣府特命担当大臣(食品安全)挨拶

・泉内閣府特命担当大臣(食品安全)から委員会発足5周年を記念して、挨拶が行われた。

(2) 遺伝子組換え食品等農薬専門調査会における審議状況について

1) 「*Streptomyces violaceoruber*(pNAG)株を利用して生産されたキチナーゼ」に関する意見・情報の募集について

・事務局から説明。

・取りまとめられた評価書(案)について意見・情報の募集手続に入ることが了承された。

<参考>

1) キチナーゼ: カニ殻やエビ殻から調製されたキチンまたはキチンオリゴ糖の加水分解に使用される酵素です。

(3) 食品安全基本法第24条に基づく委員会の意見の聴取について

1) 農薬「カズサホス」に係る食品健康影響評価について

・事務局から説明。

・「カズサホスの一日摂取許容量(ADI)を、0.00025mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関(厚生労働省)へ通知されることとなった。

2) 農薬「フェンブコナゾール」に係る食品健康影響評価について

・事務局から説明。

・「フェンブコナゾールの一日摂取許容量(ADI)を、0.03mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関(厚生労働省)へ通知されることとなった。

3) 農薬「フロニカミド」に係る食品健康影響評価について

・事務局から説明。

・「フロニカミドの一日摂取許容量(ADI)を、0.073mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関(厚生労働省)へ通知されることとなった。

4) 汚染物質「食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保について」に係る食品健康影響評価について

・事務局から説明。

・「カドミウムの耐容週間摂取量(TWI)を、7μg/kg体重/週と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関(厚生労働省)へ通知されることとなった。

<参考>

1) 殺虫剤で、だいこん、きゅうり等に使用し、みずな、ししとう、ごぼう、ピーマンへの適用拡大申請がされています。

2) 殺菌剤で、りんご、もも等に使用し、てんさいへの適用拡大申請がされています。

3) 殺虫剤で、なす、きゅうり等に使用します。すいか、ぶどう等への適用拡大申請がされており、加えて、ホップへのインポートトレランス(国外で使用される農薬等に係る残留基準)申請がされています。

4) 自然界に広く分布している銀白色の重金属です。ほとんどの食品中に環境由来のカドミウムが多少なりとも含まれ、特に、貝類、頭足類(イカなど)の内臓に多く含まれます。日本人は米飯を多く食べるため、カドミウム摂取量の約半分が米に由来するものです。

(4) 「食品安全関係府省緊急時対応基本要綱」等の改正について

・事務局から説明。

・「食品安全関係府省緊急時対応基本要綱」等のマニュアルについて、本日付で改正、施行することとされた。

(5) 食品安全委員会の6月の運営について

・事務局から報告。

〒100-8989 東京都千代田区永田町2-13-10 ブルデンシャルタワー6階 TEL 03-5251-9229 FAX 03-3591-2237

Copyright © 2006 Food Safety Commission. All Right Reserved.

 [プライバシーポリシー](#)